

令和2年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

愛媛県

行事名称	宇和島城防火訓練
実施期間・日時	令和3年1月12日(火)14:00~15:00、1月13日(水)10:00~11:00
実施場所	国指定重要文化財 宇和島城天守ほか(愛媛県宇和島市丸之内)
主催者	宇和島市教育委員会

■実施内容

訓練の想定

令和3年1月、強風波浪乾燥注意報が発表されている中、城山天守西側山林において火災が発生し、宇和島城天守に延焼する恐れがあると想定。

火災発生後、観光客の避難誘導と併せて、業務従事者により屋外消火栓(1基)で初期消火を行う。

訓練の内容

観光客による火災発見、天守受付業務従事者等による災害通報訓練、避難誘導訓練、屋外消火栓放水訓練、消火器使用訓練を実施。

参加者及び役割分担

12日	宇和島市教育委員会職員(2名)	: 全体統括、訓練運営補助
	宇和島消防本部職員(5名)	: 消火栓、消火器使用訓練の指導
	宇和島市シルバー人材センター派遣会員(12名)	: 災害通報(119番通報ほか)、避難誘導、初期消火(屋外消火栓放水)、消火器使用訓練
13日	宇和島市教育委員会職員(2名)	: 全体統括、訓練運営補助
	宇和島消防本部職員(2名)	: 消火栓、消火器使用訓練の指導
	宇和島市シルバー人材センター派遣会員(12名)	: 災害通報(119番通報ほか)、避難誘導、初期消火(屋外消火栓放水)、消火器使用訓練

特に工夫した点

感染症対策のため、業務従事者を対象に2日に分けて少人数で訓練を実施した。

天守で通報・避難誘導を行う間に、郷土館で火災報知器の発報を確認し清掃業務従事者に応援要請することとした。また、教育委員会への連絡は郷土館・清掃双方から行うこととし、確実に連絡を行えるよう変更した。

問題点・課題

- ・訓練時とは異なり、平時の業務従事者は少数であることから、発災時に避難誘導や初期消火を適切に行える防火技術等を維持することが課題。
- ・登城道が狭隘であり、一部は石段であるため、大型消防車両が天守まで到達することは困難。そのため、初期消火の精度向上や119番通報を速やかに行い、消防隊到着までの時間短縮に努めなければならない。

その他

宇和島市のシンボルである宇和島城で防火訓練を行うことは、市民に対して文化財保護意識の普及啓発にも繋がっている。

訓練風景

【初期消火(放水)訓練】



【消火器使用訓練】

